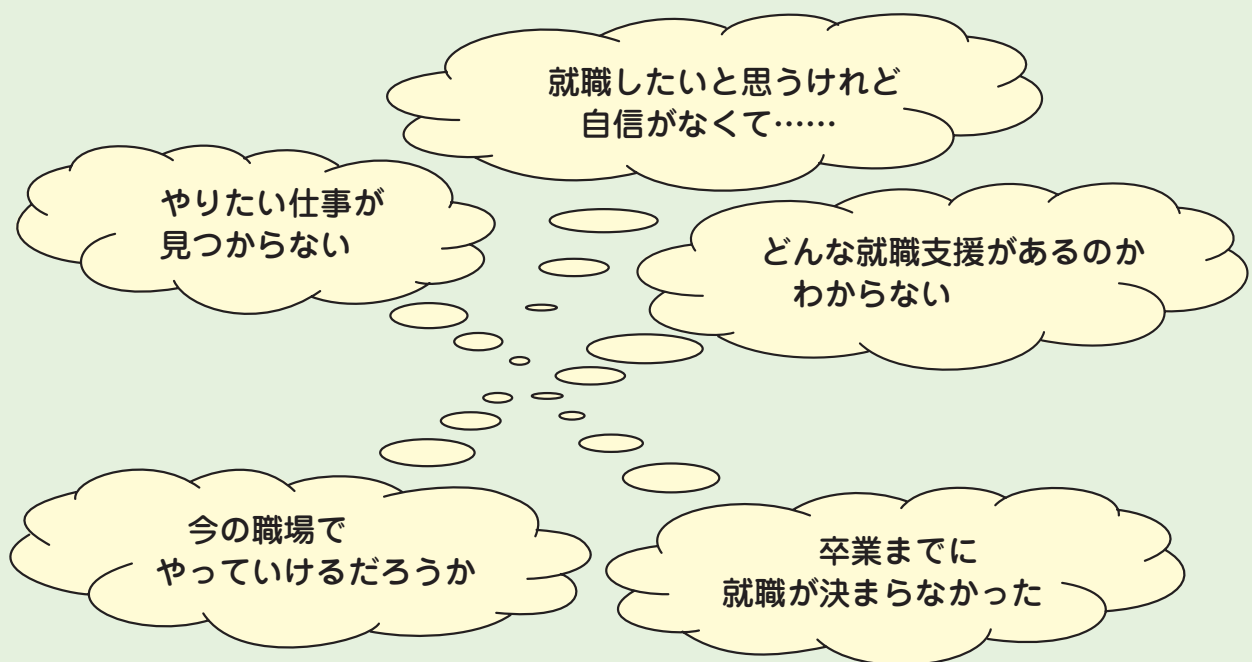


就職支援 ガイドブック

・・・ 発達障害のあるあなたに ・・・



発達障害のある若者の職業ガイダンス研究会編



独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
<http://www.jeed.or.jp/>

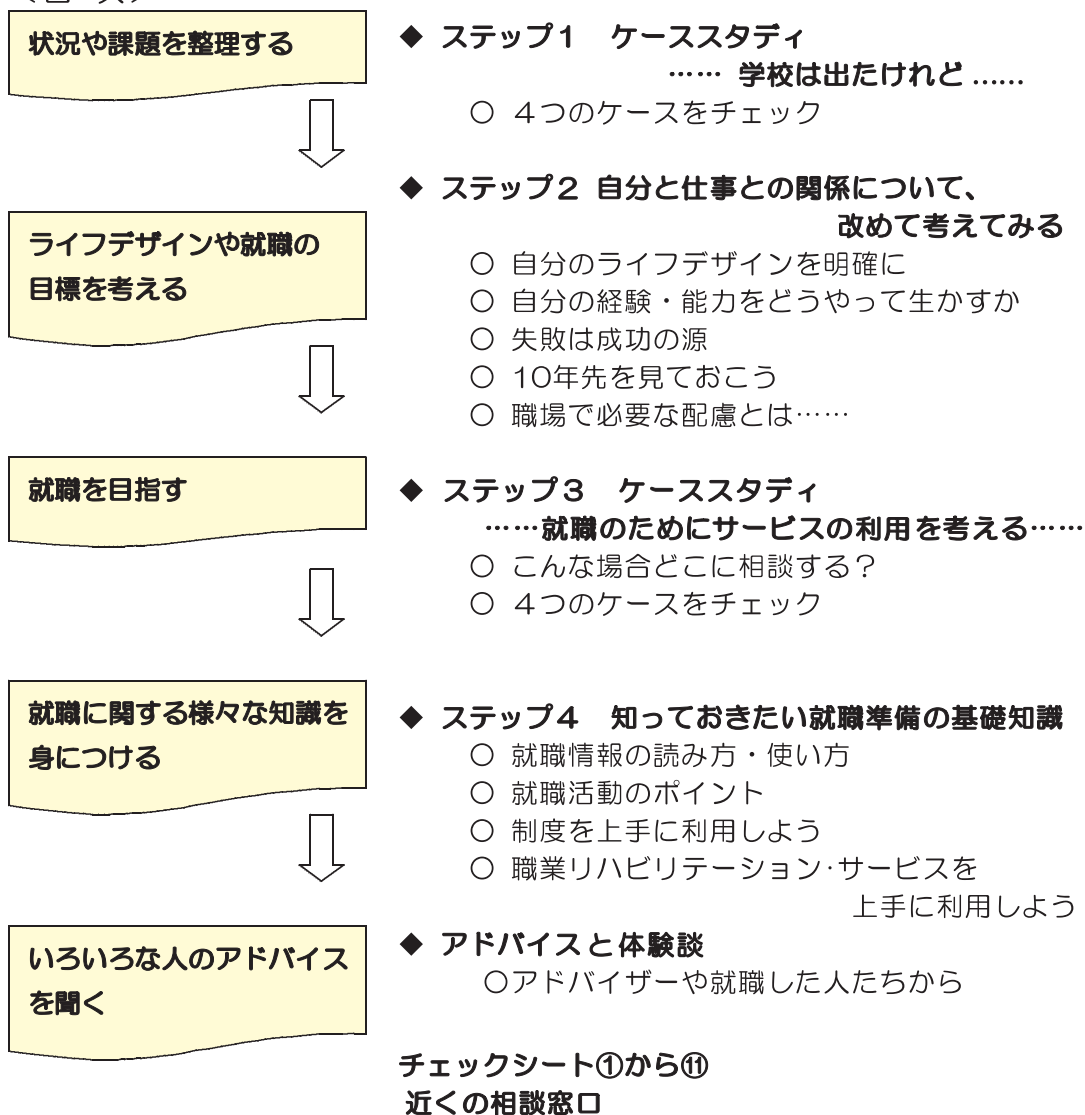
就職支援ガイドブックを活用していただくために

この「就職支援ガイドブック…発達障害のあるあなたに…」は、就職をめざして活動中の発達障害のある方々が、求職活動の手がかりやヒント、あなたにあったサービスを見つけていただくことを目的として作成したものです。

全体の構成は、下のフローチャートのような流れとなっていますが、あなたの求職活動の状況に応じて、必要な部分をピックアップして利用していただいても結構です。

本文の内容と関連して、巻末に合計11枚のチェックシートが入っています。ご自分の課題を分析したり、考えをまとめたり、専門的な相談をする時にもご活用いただけます。（チェックシートはミシン目で切り離して使うことができます。）

<目次>



<詳細目次>

ステップ1 ケーススタディ ……学校は出たけれど……

- CASE1 Aさん 19歳 専門学校卒 ―自分を生かせる仕事って何だろうか―
CASE2 Bさん 29歳 高校卒 ―自分に合った職場を探したい―
CASE3 Cさん 28歳 大学卒 ―事務が向いているのかなと思っているが、
経験がなく、自信もない―
CASE4 Dさん 31歳 大学中退 ―仕事を長く続けたいのに―

○4つのケースをチェック

CASE1 Aさん

- ◇ Aさんのチェックシート キャリアデザインをしてみよう
- ◇ Aさんのチェックシート 自分のキャリアを総点検

CASE2 Bさん

- ◇ Bさんのチェックシート ワークスタイルの「こだわり度」をチェック
- ◇ Bさんのチェックシート 自分のキャリア・マップを作ってみる

CASE3 Cさん

- ◇ Cさんのチェックシート 希望する職業について分析してみよう
- ◇ Cさんのチェックシート 希望する業界の状況について調べてみよう

CASE4 Dさん

- ◇ Dさんのチェックシート 就職活動の経験进行分析
- ◇ Dさんのチェックシート 求職条件と求人条件とのバランスをチェック

ステップ2 自分と仕事との関係について、改めて考えてみる

○自分のライフデザインを明確に

- 自分にとって「仕事」とは？
- 働き方へのこだわりは？

○自分の経験・能力をどうやって生かすか

- 職業適性検査などを受けてみる

○失敗は成功の源

○10年先を見ておこう

○職場で必要な配慮とは……

ステップ3 ケーススタディ ……就職のためにサービスの利用を考える……

○こんな場合どこに相談する？

○4つのケースをチェック

CASE1 Aさん 19歳 専門学校卒 ー自分を生かせる仕事って何だろうかー

CASE2 Bさん 29歳 高校卒 ー自分に合った職場を探したい ー

CASE3 Cさん 28歳 大学卒 ー事務が向いているのかなと思っているが、
経験がなく、自信もない ー

CASE4 Dさん 31歳 大学中退 ー仕事を長く続けたいのに ー

ステップ4 知っておきたい就職準備の基礎知識

○就職情報の読み方・使い方

ハローワークの求人票

求人情報誌

求人広告

インターネットの就職情報サイト

企業のホームページ

就職面接会

○就職活動のポイント

応募の段階で

履歴書を作成するとき

面接の前には

面接のときには

○制度を上手に利用しよう

試しに働いてみたい職場があるとき

実務に即応できる職業能力を身につけたいとき

○職業リハビリテーション・サービスを上手に利用しよう

就職に向けての相談

就職に向けての準備、訓練

就職活動、雇用前・定着支援

離職・転職時の支援、再チャレンジへの支援

アドバイスと体験談

○アドバイザーから

○就職した人たちから

○研究会事務局からのメッセージ

チェックシート①～⑪

近くの相談窓口

<図表目次> 図 1～図 7

- 図 1 転職回数（従業員調査の結果から）
- 図 2 正社員に比べて低いフリーターのパソコン能力（複数回答）
- 図 3 現在の仕事に疲労感やストレスを感じる原因（パート・アルバイト）
- 図 4 離職期間からみた求職活動の状況
- 図 5 職業別求人・求職の状況（2007 年 10 月）
- 図 6 就業形態別にみた就職先への入職経路（直近 2 年以内転職者対象）
- 図 7 初職に対する評価（従業員調査の結果から）